

教科	家庭	科目	家庭基礎
年次	1年次	単位数	2
教科書	「家庭基礎～つながる暮らし 共に創る未来～」教育図書		
副教材			
科目目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な知識と技能を身に付ける。</li> <li>・家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を解決する力を身に付ける。</li> <li>・様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を身に付ける。</li> </ul>		

期間	教科書範囲	学習内容	到達目標	評価方法
4月～5月	P5～P28	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活設計1</li> <li>・青年期と家族</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人生における家族・家庭の在り方や社会との関わりについて考えることができる。</li> </ul>	ワークシート 定期考査
6月	P29～P52	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの心身の発達や生活に関する知識を身に付けることができる。</li> </ul>	ワークシート 定期考査
7月	P135～P160	<ul style="list-style-type: none"> <li>・衣生活</li> <li>・ティッシュケース製作（基礎縫い）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・衣服の機能や安全性、環境との関わりを理解し、適切な衣服の管理ができる。</li> </ul>	ワークシート 定期考査 製作作品
7月～8月	P22～P229	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームプロジェクト</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭や地域の生活における課題を見いだして改善できる。</li> </ul>	ワークシート 発表
9月	P53～P74	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢期</li> <li>・共生社会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者の生活を支える制度や地域社会の現状を理解し、その課題について考えることができる。</li> </ul>	ワークシート 定期考査
10月～ 12月	P75～P134	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食生活</li> <li>・調理実習（日常食）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全で健康的な食生活をおくるために必要な知識と技術を身に付けることができる。</li> </ul>	ワークシート 定期考査
1月～ 2月	P183～P218	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経済計画</li> <li>・消費生活</li> <li>・環境</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経済計画の重要性について理解できる。</li> <li>・消費者として環境に配慮した適切な消費行動ができる。</li> </ul>	ワークシート 定期考査
3月	P161～P223	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住生活</li> <li>・生活設計2</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・快適な住生活を送るための知識を身に付けることができる。</li> <li>・自分らしいライフスタイルの実現を目指して、生活設計を立てることができる。</li> </ul>	ワークシート 定期考査

教科	家庭	科目	生活と福祉
年次	2年次専情	単位数	2
教科書	「生活と福祉」実教出版		
副教材			
科目目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者の健康と生活、介護などについて理解し、関連する技術を身に付ける。</li> <li>・高齢者の生活に関する課題を発見し、それを解決する能力を身に付け、家族や地域の人の豊かな生活の実現を目指して自ら学び、高齢者の生活の質の向上と自立生活支援に主体的かつ協働的に取り組むことができる力を身に付ける。</li> </ul>		

期間	教科書 範囲	学習内容	到達目標	評価方法
4月～5月	P8～P26	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康と生活</li> <li>・手話、指文字</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康の概念、各ライフステージの健康上の特徴と課題について理解できる。</li> <li>・簡単な手話や指文字ができる。</li> </ul>	ワークシート 手話テスト
6月～7月	P28～ P50	<ul style="list-style-type: none"> <li>・少子高齢化の現状と高齢者の特徴</li> <li>・簡単な手話、指文字</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・少子高齢化の現状について理解を深め課題を見つけることができる。</li> <li>・高齢者の心身、病気の特徴、高齢者に多い事故について理解できる。</li> <li>・簡単な手話や指文字ができる。</li> </ul>	ワークシート 手話テスト
9月～10月	P52～ P62	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者の自立支援</li> <li>・日常の手話</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ノーマライゼーションについて理解し、自立生活支援の意義について理解できる。</li> <li>・日常の手話表現ができる。</li> </ul>	ワークシート 定期考査 手話テスト
11月～1月	P52～ P62	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者支援の法律と制度</li> <li>・日常の手話</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会保障、社会福祉制度、介護保険制度の仕組みと現状について理解できる。</li> <li>・日常の手話表現ができる。</li> </ul>	ワークシート 定期考査 手話テスト
2月～3月	P66～ P84	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者支援の法律と制度</li> <li>・日常の手話</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会保障、社会福祉制度、介護保険制度の仕組みと現状について理解できる。</li> <li>・日常の手話表現ができる。</li> </ul>	ワークシート 定期考査 手話テスト

教科	家庭	科目	保育基礎
年次	2年次専情	単位数	2
教科書	「保育基礎」実教出版		
副教材			
科目目標	保育の意義や方法，子どもの発達と生活の特徴、子どもの福祉や文化について理解し、関連する技術を身につけ、保育や子育て支援に寄与する資質・能力を身に付ける。		

期間	教科書 範囲	学習内容	到達目標	評価方法
4月～5月	P10～P24	・子どもの保育	・子どもを取り巻く環境が子どもの発達に大きな影響を与えることを理解し、発達段階における発達課題に応じて、接し方・援助の仕方・適切な保育環境整備ができる。	ワークシート 定期考査
6月～7月	P26～P66	・子どもの発達	・子どもの心身の発達の特性について理解でき、月齢・年齢ごとの保育に関連づけて考察することができる。	ワークシート 定期考査
9月～11月	P68～P104	・子どもの文化 ・絵本のよみきかせ、折り紙	・遊びを通じて子どもが豊かに発達することについて理解できる。 ・子どもの発達や特性をふまえた上で、子どもの遊具等の作成に取り組むことができる。	ワークシート 定期考査 製作作品
12月～1月	P110～ P134	・子どもの生活 ・オムツ交換、授乳、沐浴	・子どもの健康的な生活を支える保育の基礎的な技術を身に付けることができる。 ・子どもにおこりやすい事故を予測し、その対策を考えることができる。	ワークシート 定期考査 実習
2月～3月	P136～ P156	・子どもの福祉	・子育ての現状をふまえて、これからの子育て支援を考えることができる。	ワークシート 定期考査

教科	家庭	科目	フードデザイン
年次	2年次・専情	単位数	4
教科書	『フードデザイン』 教育図書		
科目目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・栄養、食品、献立作成について基礎基本を理解するとともに、それに関連する技術を身に付ける。</li> <li>・食生活の現状から課題を発見し、改善計画を考えることができる。</li> <li>・和食・洋食・中華料理の特徴を理解し、基礎基本の調理ができる。</li> </ul>		

期間	教科書 範囲	学習内容	到達目標	評価方法
年度当初～ 前期中間考査	P 6 ～ P 6 3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食べ物の意義や役割</li> <li>・栄養と消化吸収</li> <li>・調理</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食べることの意義や役割が理解できるようになる。</li> <li>・各栄養素の特徴と体内ではたらしきについて、理解できるようになる。</li> <li>・和食料理の特徴を理解し、基礎基本の調理ができるようになる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシート</li> <li>・調理実習の作品と実習のふり返し</li> </ul>
～前期末考査	P 6 1 P 7 4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・栄養と消化吸収</li> <li>・食事摂取基準</li> <li>・弁当甲子園への応募</li> <li>・調理</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食べ物の消化・吸収、どのように活用されていくかを理解できるようになる。</li> <li>・食事計画では、「食品群別摂取量のめやす」を利用できるようになる。</li> <li>・誰かのために栄養バランスを考えたお弁当を作ることができるようになる。</li> <li>・お弁当甲子園をレポートにまとめ、発表することができるようになる。</li> <li>・和食と洋食料理の特徴を理解し、基礎基本の調理ができるようになる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシート</li> <li>・レポート</li> <li>・調理実習の作品と実習のふり返し</li> <li>・定期考査</li> </ul>
～後期中間考査	P 6 4 ～ P 8 8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食事計画</li> <li>・現代の食生活の課題</li> <li>・食の名人さんによる調理実習</li> <li>・調理</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「食事摂取基準」の考え方が理解できるようになる。</li> <li>・現代の食に関する問題点を把握し、改善に向けて計画することができるようになる。</li> <li>・地域の特産物を活用した調理ができるようになる。</li> <li>・洋食と中華料理の特徴を理解し、基礎基本の調理ができるようになる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシート</li> <li>・調理実習の作品と実習のふり返し</li> </ul>
～後期末考査	P 1 0 4 P 1 2 8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の食生活の課題</li> <li>・調理</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日ごろの食生活から課題を発見し、改善計画を考えることができるようになる。</li> <li>・中華料理の特徴を理解し、基礎基本の調理ができるようになる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシート</li> <li>・調理実習の作品と実習のふり返し</li> <li>・定期考査</li> </ul>
～年度末		<ul style="list-style-type: none"> <li>・食品の特徴</li> <li>・調理</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食品について調べ、スライドにまとめ、発表することができるようになる。</li> <li>・1年間のまとめとして、班でオリジナル献立を立て、材料の購入から調理、片付けを協力し行うことができるようになる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシート</li> <li>・スライド</li> <li>・調理実習の作品と実習のふり返し</li> </ul>

教科	家庭	科目	ファッション造形基礎
年次	2年次専情	単位数	2
教科書	「ファッション造形基礎」実教出版		
副教材			
科目目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・被服の構成、被服材料の種類や特徴、被服製作などについて理解するとともに、関連する技術を身に付ける。</li> <li>・被服製作やデザインに関する課題を発見し、合理的かつ創造的に解決する力を身に付ける。</li> <li>・衣生活の充実を目指して自ら学び、ファッションの造形に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付ける。</li> </ul>		

期間	教科書 範囲	学習内容	到達目標	評価方法
4月	P6～P22	・衣服の構成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体形の特徴や動作によって適切な衣服を考えることができる。</li> <li>・既製衣料のサイズ表示も理解できる。</li> </ul>	ワークシート 定期考査
5月	P24～P43	・衣服の素材	<ul style="list-style-type: none"> <li>・繊維・糸・布と素材の違いによるそれぞれの特徴，それらの加工を理解できる。</li> <li>・様々なシチュエーションに対して適切な衣服材料を選ぶことができる。</li> </ul>	ワークシート 定期考査
6月～9月	P48～P75  P127～129	<ul style="list-style-type: none"> <li>・製作の基礎</li> <li>・ハーフパンツ製作</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・用具の適切な使用方法、布地の扱い方など縫製の基礎を理解できる。</li> <li>・ミシンを使った衣服製作ができる。</li> </ul>	ワークシート 定期考査 実技テスト 製作作品
10月～12月	P95～P117	・じんべい製作	<ul style="list-style-type: none"> <li>・製作に必要な知識と技術を身に付けることができる。</li> <li>・完成に向けて、計画的に丁寧に作業を進めることができる。</li> </ul>	ワークシート 定期考査 製作作品
1月～3月	P199～P203	<ul style="list-style-type: none"> <li>・着装</li> <li>・残り布を使った作品製作</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・着装のマナーや和服の種類と用途を学び、TPOに合わせた和服の美しい着装ができる。</li> <li>・残り布を有効に活用することができる。</li> </ul>	ワークシート 定期考査 製作作品

教科	家庭	科目	生活と福祉
年次	3年次専情	単位数	2
教科書	「生活と福祉」実教出版		
副教材			
科目目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者の健康と生活、介護などについて理解し、関連する技術を身に付ける。</li> <li>・高齢者の生活に関する課題を発見し、それを解決する能力を身に付け、家族や地域の人々の豊かな生活の実現を目指して自ら学び、高齢者の生活の質の向上と自立生活支援に主体的かつ協働的に取り組むことができる力を身に付ける。</li> </ul>		

期間	教科書 範囲	学習内容	到達目標	評価方法
4月	P60 ～ P61	・手話、指文字	・簡単な手話や指文字ができる。	ワークシート 小テスト
4月～5月	P74～85	・高齢者支援の法律と制度	・高齢者支援を支える様々な制度と課題、将来の展望について理解し、地域の現状について考察できている。	ワークシート 定期考査
6月～8月	P90 ～ P110	介護の実習 ・食事の介助 ・シーツ交換 ・衣服の着脱 ・からだの清潔の介護 ・排泄の介護 ・褥瘡の予防 ・災害時の介護	・基本的な介護の知識と技術を身につけることができる。	ワークシート 定期考査 実習 実技テスト
9月月	P130 ～ P1153	看護の実習 ・バイタルサイン ・口腔の清潔など	・基本的な看護の知識と技術を身につけることができる。	ワークシート 定期考査 実習
10月～11月	P154 ～ P167	生活支援 ・衣食住に関する支援	・生活支援の考え方を理解し、支援に必要な技術を身につけている。	ワークシート 定期考査
12月～1月	P168 ～ P171	・レクリエーション	・高齢者に適したレクリエーションを考え、実践する区ことができる。	ワークシート 定期考査 実習

教科	家庭	科目	フードデザイン
年次	3年次・専情	単位数	2
教科書	『フードデザイン』 教育図書		
科目目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ライフステージごとの栄養の特徴を理解し、栄養バランスのよい献立を作成することができる。</li> <li>・食品の衛生と安全、エコクッキングについて理解し、調理実習に活用できるようにする。</li> <li>・和食・洋食・中華料理の特徴を理解し、供応食や行事食への献立を立て調理することができる。</li> </ul>		

期間	教科書 範囲	学習内容	到達目標	評価方法
年度当初～ 前期中間考査	P 6 4 ～ P 7 4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ライフステージと栄養の特徴</li> <li>・調理</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各ライフステージの栄養の特徴を理解できるようになる。</li> <li>・各ライフステージの特徴に応じた栄養バランスのよい食事計画を作成できるようになる。</li> <li>・和食・洋食・中華料理の特徴を理解し、日常食の調理ができるようになる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシート</li> <li>・調理実習の作品と実習のふり返し</li> <li>・定期考査</li> </ul>
～前期期末考査	P 7 5 ～ P 8 8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食品の選択と表示</li> <li>・調理</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食品の表示を見ながら、ライフスタイルに応じた選択ができるようになる。</li> <li>・和食・洋食・中華料理の特徴を理解し、日常食の調理ができるようになる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシート</li> <li>・調理実習の作品と実習のふり返し</li> </ul>
～後期中間考査	P 1 4 2 ～ P 1 4 6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食と環境</li> <li>・行事食の特徴</li> <li>・調理</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日々の食事や調理など環境を意識した行動ができるようになる。</li> <li>・行事食の特徴を理解できるようになる。</li> <li>・行事食の献立を作成し、調理できるようになる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシート</li> <li>・調理実習の作品と実習のふり返し</li> <li>・定期考査</li> </ul>
～後期期末考査	P 1 0 4 P 1 2 8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・供応食の特徴</li> <li>・供応食の調理</li> <li>・魚さばき体験</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・供応食の献立を作成し、おもてなし会を実施できるようになる。</li> <li>・魚を一尾さばき、魚の調理ができるようになる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシート</li> <li>・調理実習の作品と実習のふり返し</li> </ul>
～年度末		1年間の総復習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2年間の学習をふり返し、実生活に活かせるような献立を立て、調理することができるようになる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシート</li> <li>・調理実習の作品と実習のふり返し</li> </ul>

教科	家庭	科目	食文化
年次	3年次・専情	単位数	2
教科書	『調理 BOOK』 実教出版		
科目目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本と世界の食文化に関する知識と技術を習得する。</li> <li>・食文化の「伝承」と「創造」に貢献できる力を養う。</li> </ul>		

期間	教科書 範囲	学習内容	到達目標	評価方法
年度当初～ 前期中間考査		<ul style="list-style-type: none"> <li>・食文化の成り立ち</li> <li>・日本の食文化</li> <li>・調理</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本や諸外国の食文化の成り立ちの要因について理解できるようになる。</li> <li>・各時代の食生活の変遷について理解できるようになる。</li> <li>・牛深高校にある食材を収穫し、保存食づくりや食材を用いた調理をすることができるようになる。</li> <li>☆草餅（よもぎ摘み）</li> <li>☆桜餅（桜の葉の塩漬け）</li> <li>☆梅ジュース（梅の収穫）</li> <li>☆あんずジャム（あんずの収穫）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシート</li> <li>・調理実習の作品と実習のふり返し</li> <li>・定期考査</li> </ul>
～前期期末考査		<ul style="list-style-type: none"> <li>・食文化の伝承と創造</li> <li>・郷土料理実習</li> <li>・日本の保存食</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・熊本や天草の郷土料理や我が家の伝承料理について調べ、調理し、スライドにまとめることができるようになる。</li> <li>・まとめたことを発表することができるようになる。</li> <li>☆いきなり団子</li> <li>☆ねったくり</li> <li>・日本の保存食について理解することができるようになる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシート</li> <li>・レポート</li> <li>・調理実習の作品と実習のふり返し</li> </ul>
～後期中間考査		<ul style="list-style-type: none"> <li>・世界の料理の特徴と文化</li> <li>・調理</li> <li>・食の名人さんによる調理実習</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・世界の主な食文化とその料理の特徴が理解できるようになる。</li> <li>・各国の郷土料理について調べ、レポートにまとめ、発表ができるようになる。（代表者の作品を調理）</li> <li>☆韓国料理</li> <li>☆メキシコ料理</li> <li>☆イタリア料理</li> <li>・地域の特産物を活用した調理ができるようになる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシート</li> <li>・レポート</li> <li>・調理実習の作品と実習のふり返し</li> <li>・定期考査</li> </ul>
～後期期末考査		<ul style="list-style-type: none"> <li>・食生活の国際化</li> <li>・調理</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国際化の進展に伴う料理や食生活の変化や問題点について、理解できるようになる。</li> <li>・保存食の調理ができるようになる。</li> <li>☆干し柿づくり</li> <li>☆みそ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシート</li> <li>・調理実習の作品と実習のふり返し</li> </ul>
～年度末		<ul style="list-style-type: none"> <li>・1年間のまとめ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・継承したい和食の献立について調べ、調理することができるようになる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシート</li> <li>・調理実習の作品と実習のふり返し</li> </ul>

教科	家庭	科目	消費生活
年次	3年次・専情	単位数	2
教科書	『消費生活』 文部科学省		
科目目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人生を「よりよく生きる」ために必要な「消費者」としての知識を身につける。</li> <li>・持続可能な社会の形成のために自分でできることを考え実践できるようになる。</li> </ul>		

期間	教科書 範囲	学習内容	到達目標	評価方法
年度当初～ 前期中間考査	P 3～ P 1 8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会を支える消費者</li> <li>・消費者被害と消費者の権利・責任</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経済社会の変化と消費生活について理解できるようになる。</li> <li>・消費者問題の発生や背景について理解できるようになる。</li> <li>・被害の防止方法を理解し、実践できるようになる。</li> <li>・消費者基本法を通して、消費者には権利と責任があることを理解できるようになる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシート</li> <li>・レポート</li> <li>・ロールプレイング</li> <li>・定期考査</li> </ul>
～前期期末考査	P 1 1 9 ～ P 1 5 0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境と消費者</li> <li>・テーマ研究</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・持続可能な消費生活の在り方について理解できるようになる。</li> <li>・SGDs(持続可能な社会)のために消費者としての取り組みについて調べ、自分の意見をスライドにまとめ、発表できるようになる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシート</li> <li>・レポート</li> <li>・スライド</li> </ul>
～後期中間考査	P 8 3 ～ P 8 6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消費者契約と法</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消費行動における自分の意思決定の重要性とそのプロセスを理解できるようになる。</li> <li>・具体的な事例を通して、トラブルに巻き込まれない消費生活を送るための知識と技術を習得できるようになる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシート</li> <li>・レポート</li> <li>・定期考査</li> </ul>
～後期期末考査	P 3 0 ～ P 5 7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消費生活の安全と自由</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消費生活の安全と自由を確保するために必要な情報活用能力を身につけることができるようになる。</li> <li>・消費者として主体的に判断する上で必要な知識等について理解できるようになる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシート</li> <li>・レポート</li> </ul>
～年度末		<ul style="list-style-type: none"> <li>・1年間のまとめ テーマ研究</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1年間の学びの総復習として、商品や消費者支援について調べ理解を深めることができるようになる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシート</li> <li>・レポート</li> </ul>

教科	家庭	科目	服飾手芸
年次	3年次専情	単位数	2
教科書	「今日からはじめるおさいほうのキホン」成美堂出版		
副教材			
科目目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・手芸の種類と技法について理解するとともに、関連する技術を身に付ける。</li> <li>・手芸品の製作を目指して自ら学び、創造的な製作と服飾への活用に主体的に取り組む態度を身に付ける。</li> </ul>		

期間	教科書 範囲	学習内容	到達目標	評価方法
4月	P6～ P18	・手芸の種類と特徴	・手芸の種類と特徴について理解できる。	ワークシート 定期考査
4月～5月	P74～ P82	・基礎縫い ・コースター製作	・なみ縫い、まつり縫い、半返し縫い、本返し縫いができる。	製作作品 定期考査
6月～7月	P42～ P86	・刺しゅう  ・エコバッグ製作	・基本的な刺しゅうができる。  ・ミシンを使った被服作品の製作ができる。	製作作品 定期考査
9月～10月	P74～ P78	・刺し子ふきん製作  ・染色	・刺し子の種類と技法を理解し、刺し子の技術を身に付けることができる。  ・さまざまな染色の技法を理解し、絞り染めで作品を作ることができる。	ワークシート 製作作品 定期考査
11月～学期末	P88～ P172	・自由課題作品の製作	・これまで学習したさまざまな手芸の技法を用いて手芸作品の製作ができる。	製作作品

教科	家庭	科目	保育実践
年次	3年次専情	単位数	4
教科書	「保育実践」実教出版		
副教材			
科目目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子供の表現活動や子育て支援について理解するとともに、関連する技術を身に付ける。</li> <li>・保育や子育て支援に関する課題を発見し、子供を取り巻く環境の変化に対応した保育を担う者として解決する力を身に付ける。</li> <li>・保育の充実を目指して自ら学び、保育や子育て支援の実践に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付ける。</li> </ul>		

期間	教科書 範囲	学習内容	到達目標	評価方法
4月～5月	P3～P11	・折り紙、石、草花などを使った造形表現活動	・子供の造形表現活動の意義と重要性を理解し、子供の様々な造形表現活動を促す技術を身に付けることができる。	ワークシート 定期考査 実習作品
6月～7月	P11 ～ P16	・絵本のおよみきかせ、語り、紙芝居などの言語表現活動	・子供の言語表現活動の意義と重要性を理解し、子供の様々な言語表現活動を促す技術を身に付けることができる。	ワークシート 定期考査 実習作品
9月	P36	・表現活動の実践（壁面構成、ペープサートなど）	・子供の表現活動の実践に主体的かつ協働的に取り組むことができる。	ワークシート 定期考査 実習作品
10月	P26 ～ P33	・歌や演奏、手遊びなどの音楽・身体表現活動	・子供の音楽・身体表現活動の意義と重要性を理解し、子供の様々な音楽・身体表現活動を促す技術を身に付けることができる。	ワークシート 定期考査
11月～12月	P55 ～ P69	・保育の活動計画と実習	これまでの学習内容を生かして、保育実習に向けた活動計画を作成できる。	ワークシート 定期考査
12月～学期末	P39 ～ P47	・子育て支援と保育	・地域の様々な子育て支援について課題を発見し、その解決に向けて考察することができる。	ワークシート 定期考査